

令和7(2025)年度 とちぎネットアンケート結果

第1回 ごみの減量や資源の循環的な利用について

1 調査目的

栃木県では2021年に「栃木県資源循環推進計画」を策定し、持続可能な循環型社会の実現に向け、各種施策に取り組んでいます。
今後の施策の参考とするため、ごみの減量や資源の循環的な利用(再利用や再生利用等)について、県民の皆さまの取組状況を調査します。

(担当課:環境森林部 資源循環推進課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

776名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和7(2025)年4月8日～4月21日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。MicrosoftFormsにより回答

3 回答者属性

回答数 491 名 (回答率63.3%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	214	43.6 %
女性	272	55.4 %
未回答	5	1.0 %
計	491	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	2	0.4 %
20代	10	2.0 %
30代	32	6.5 %
40代	122	24.8 %
50代	127	25.9 %
60代	122	24.8 %
70代以上	76	15.5 %
計	491	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	252	51.3 %
県南	142	28.9 %
県北	97	19.8 %
計	491	

(注)

- (1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- (2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。
- (3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

4 調査結果

問1 あなたは、2020 年7月にレジ袋有料化が始まってから、レジ袋を辞退するようになりましたか。

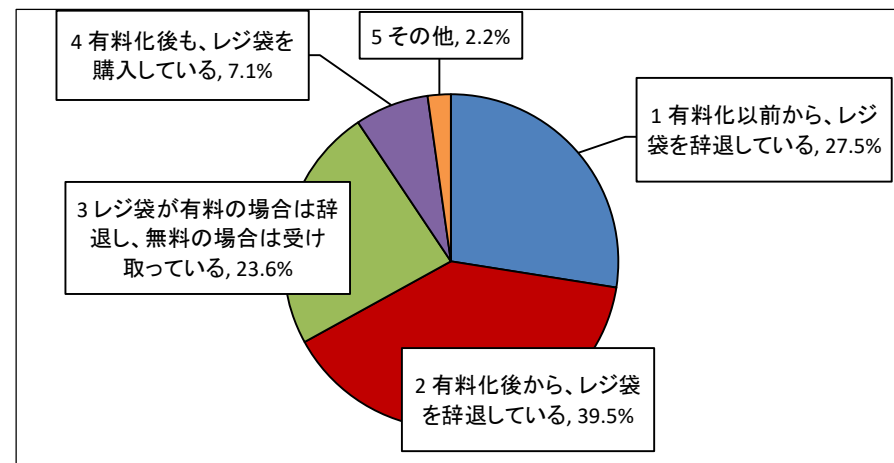
(1つ回答)

	構成比	回答数
1 有料化以前から、レジ袋を辞退している	27.5%	135
2 有料化後から、レジ袋を辞退している	39.5%	194
3 レジ袋が有料の場合は辞退し、無料の場合は受け取っている	23.6%	116
4 有料化後も、レジ袋を購入している	7.1%	35
5 その他	2.2%	11

(n = 491)

【その他の主な意見】

- ・ エコバッグがない時や荷物が多くて足りない時は購入している
- ・ 買うものによって購入か辞退か変えている

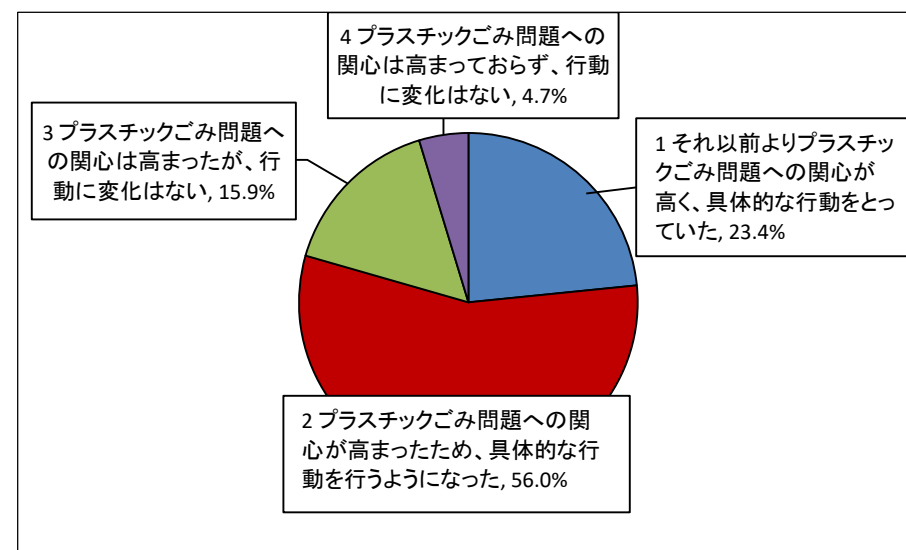


問2 レジ袋有料化により、あなたのプラスチックごみ問題への関心や行動に変化はありましたか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 それ以前よりプラスチックごみ問題への関心が高く、マイバッグ・マイボトルの持参、スプーン・ストローの辞退など具体的な行動をとっていた	23.4%	115
2 プラスチックごみ問題への関心が高まったため、マイバッグ・マイボトルの持参、スプーン・ストローの辞退など具体的な行動を行うようになった	56.0%	275
3 プラスチックごみ問題への関心は高まったが、行動に変化はない	15.9%	78
4 プラスチックごみ問題への関心は高まっておらず、行動に変化はない	4.7%	23

(n = 491)



問3 あなたは、家庭から出るごみの処理について、困っていることはありますか。

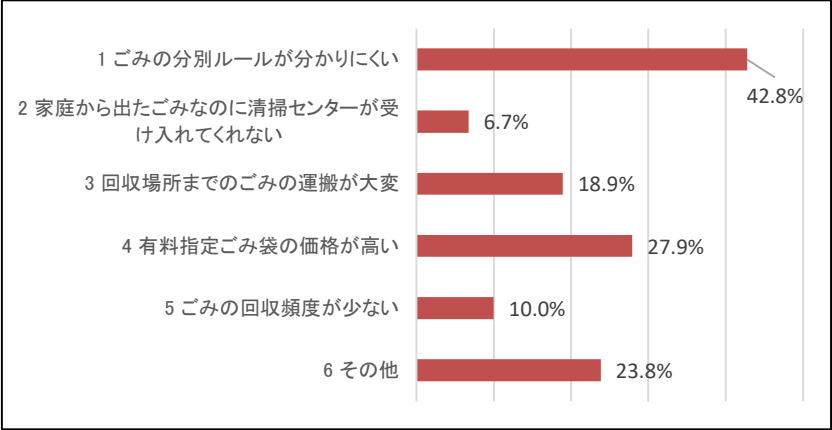
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 ごみの分別ルールが分かりにくい	42.8%	210
2 家庭から出たごみなのに清掃センターが受け入れてくれない	6.7%	33
3 回収場所までのごみの運搬が大変	18.9%	93
4 有料指定ごみ袋の価格が高い	27.9%	137
5 ごみの回収頻度が少ない	10.0%	49
6 その他	23.8%	117

(n = 491)

【その他の主な意見】

- ・ 粗大ごみを清掃センターへ持って行くのが大変
- ・ 細かく分別するのが大変

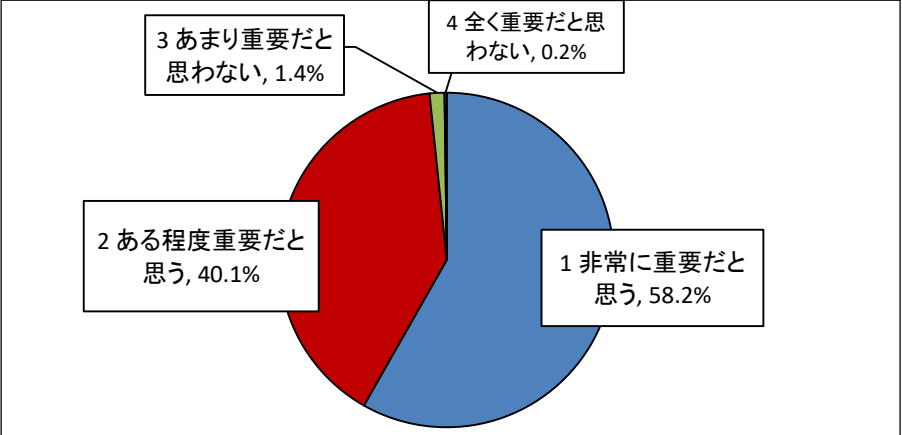


問4 あなたは、家庭や職場で出るごみの減量や資源の循環的な利用(再利用や再生利用等)について、どの程度重要と考えていますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 非常に重要だと思う	58.2%	286
2 ある程度重要だと思う	40.1%	197
3 あまり重要だと思わない	1.4%	7
4 全く重要だと思わない	0.2%	1

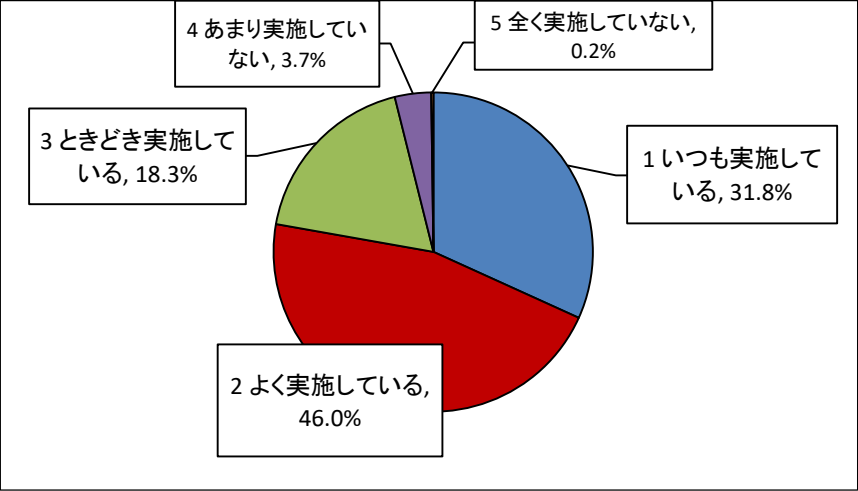
(n = 491)



問5 あなたは、ごみの減量を意識した行動(リデュース)について、どの程度実施していますか。
行動例:マイバッグやマイボトルを利用する、詰め替え容器製品や簡易包装製品を購入する
(1つ回答)

	構成比	回答数
1 いつも実施している	31.8%	156
2 よく実施している	46.0%	226
3 ときどき実施している	18.3%	90
4 あまり実施していない	3.7%	18
5 全く実施していない	0.2%	1

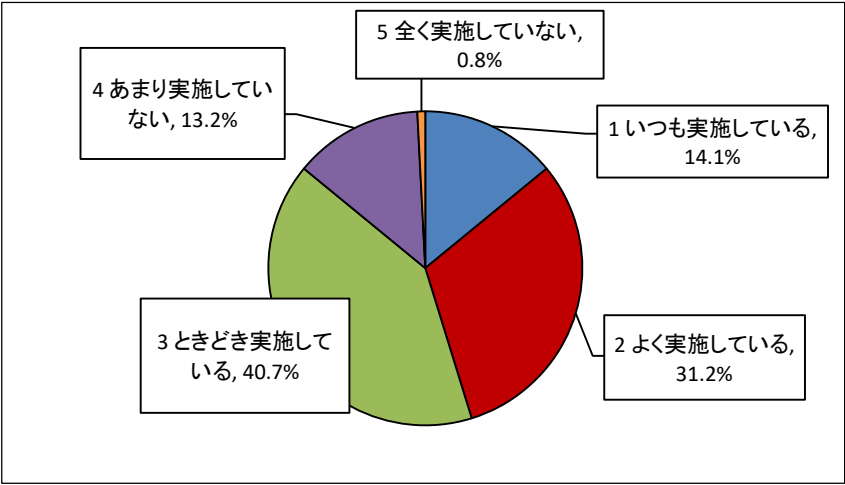
(n = 491)



問6 あなたは、再利用を意識した行動(リユース)について、どの程度実施していますか。
行動例:中古品や不要品を購入・譲渡する、壊れたものを修理して利用する
(1つ回答)

	構成比	回答数
1 いつも実施している	14.1%	69
2 よく実施している	31.2%	153
3 ときどき実施している	40.7%	200
4 あまり実施していない	13.2%	65
5 全く実施していない	0.8%	4

(n = 491)



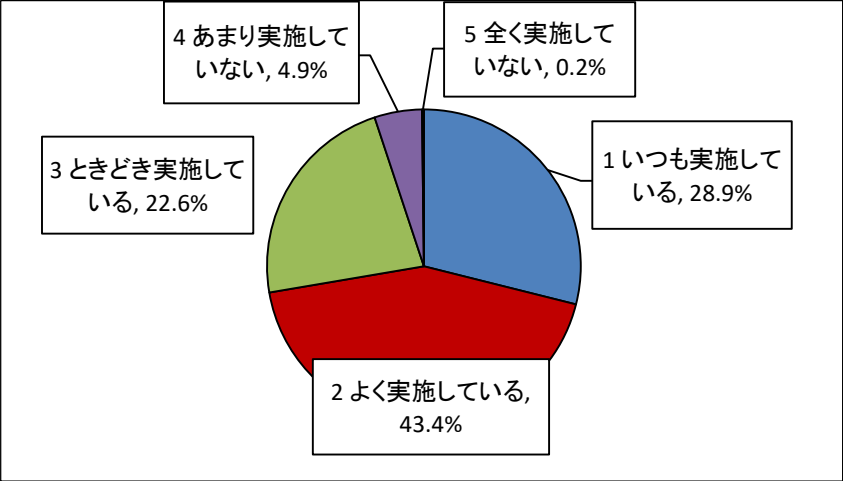
問7 あなたは、リサイクルを意識した行動について、どの程度実施していますか。

行動例:資源ごみを分別回収する、リサイクル製品を利用する

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 いつも実施している	28.9%	142
2 よく実施している	43.4%	213
3 ときどき実施している	22.6%	111
4 あまり実施していない	4.9%	24
5 全く実施していない	0.2%	1

(n = 491)



問8 プラスチックごみによる海洋汚染が「海洋プラスチックごみ問題」として、世界的に注目されています。

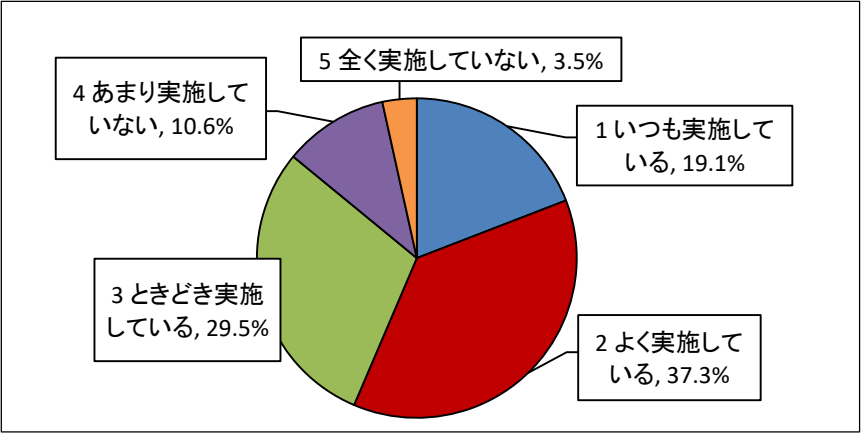
あなたは、この問題解決のため、海洋プラスチックごみを減らす行動を実施していますか。

行動例:プラスチック代替製品(木製カトラリー等)を利用する、プラスチック製の使い捨て袋やカトラリーを断る、マイバッグやマイボトルを持ち歩く、ごみ拾いする

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 いつも実施している	19.1%	94
2 よく実施している	37.3%	183
3 ときどき実施している	29.5%	145
4 あまり実施していない	10.6%	52
5 全く実施していない	3.5%	17

(n = 491)



問9 あなたは、廃棄物リサイクル施設にどのようなイメージがありますか。

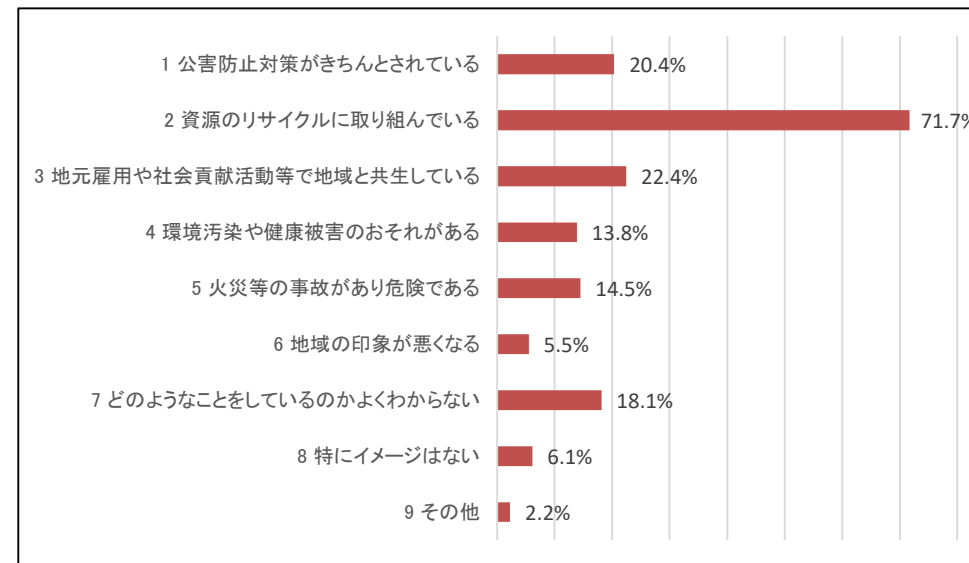
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 公害防止対策がきちんとされている	20.4%	100
2 資源のリサイクルに取り組んでいる	71.7%	352
3 地元雇用や社会貢献活動等で地域と共生している	22.4%	110
4 環境汚染や健康被害のおそれがある	13.8%	68
5 火災等の事故があり危険である	14.5%	71
6 地域の印象が悪くなる	5.5%	27
7 どのようなことをしているのかよくわからない	18.1%	89
8 特にイメージはない	6.1%	30
9 その他	2.2%	11

(n = 491)

【その他の主な意見】

- ・ 生まれたエネルギーで温水プールや電力供給しているイメージがあり、いつも感謝している
- ・ リサイクルの方法が可視化されておらず、具体的に何を行っているかわからない



問10 あなたは、「サーキュラーエコノミー」という言葉を知っていますか。

※サーキュラーエコノミー(循環経済)とは、従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、

サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を指すもの(環境省HPより)

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 知っている	8.1%	40
2 聞いたことはあるが、意味は知らない	27.1%	133
3 聞いたことがない	64.8%	318

(n = 491)

